小学生国語　基本文法002　接続語　練習問題04　解答と解説

日本語の基本文法・接続語の練習問題04です。
小学3年生くらいからできる内容ですが、小学生高学年・中学生・高校生も確認のためにやってみるといいでしょう。

問題　次の文の（　）に入る接続語を［　　］内から選んで書き入れなさい。（　）1個10点

逆接　順接　理由を後に言う時　具体例　具体を抽象に

［しかし　だから　なぜなら　たとえば　つまり］

1　おじいちゃんに連れて行かれた博物館に、最初は全く興味がなかった。（なぜなら）私が好きそうな恐竜などの化石の展示が無い博物館だと知っていたからだ。（しかし）中に入ってみるといろいろな昆虫たちの生態を、写真や説明書きだけではなく映像も使って見やすく詳しく展示していたので、とても興味深い内容だった。※解答のポイントとなるところに――をつけてあります。

2　お父さんはロールケーキやガトーショコラ、プリンなどをよく作ってくれる。（つまり）お菓子作りが得意なのだ。※ロールケーキやガトーショコラが具体、お菓子が抽象。
今日も大きなバースデーケーキを手作りしている。（なぜなら）弟の誕生日パーティーをやるからだ。

3　「自由研究というのは夏休みだけにやるものではなく、一年間をかけてやりましょう」という新しい校長先生の方針が示された。（だから）私は身近な植物を年間を通じて観察することにした。（たとえば）近くの公園に咲いているタンポポが咲く時期やワタゲになる時期をチェックしたり、シロツメクサなどの他の植物との開花の時期を比較しながら、観察日記をつけている。

4　私は緑茶とか烏龍茶が好きで、普段は砂糖の甘みがする飲み物はあまり飲まない。（しかし）おばあちゃんの家に行くと、入れてくれた紅茶には（たとえば）レンゲのハチミツや桜のハチミツ、メープルシロップなどを入れる。（なぜなら）これらの甘味は普通の白い砂糖とはそれぞれ違った味わいがあって楽しめるからだ。

5　「勝つためにはリレーの走る順番を変えよう」と、ゴブダイ君が言い出した。たしかに後半に速い人を集めるという作戦で組んだ順番では、他のクラスとの練習でいつも前半に大きな差をつけられてしまい後半に逆転できない。（しかし）運動会の本番まではあと五日間しかないので、走る順番を今から変えて上手くいくのか、みんな疑問を持っているような顔だった。
※この問題は副詞の呼応を使っていますが、それは小学生ではまだわからなくても大丈夫です。それでも文脈から　しかし　が入るとわかると思います。